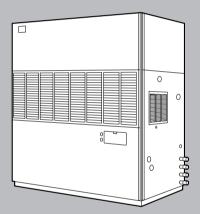
三菱重工
パッケージエアコン

取 扱 説 明 書

ASP224F1
ASP300F1

ASP450F1
ASP600F1

このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき，正しくご使用ください。
お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。万一，ご使用中にわからないことや異常が生じたとききっとお役にたちます。

なお，この説明書は標準仕様として記載してあります。お客様のご希望などにより仕様を変更して使用される場合は試運転引き渡し時に販売店より説明がありますので，その説明に従ってください。

PSA012B719

もくじ

安全上のご注意

■ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は，「⚠警告」，「⚠注意」に区分していますが，誤った取り扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし，「⚠注意」の欄に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。

■本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。		必ず指示に従い，行ってください。		必ずアース線工事を行ってください。

■お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また，お使いになる方が代わる場合は，必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠警告

据え付けは，お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

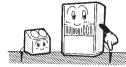
ご自分で据付工事をされ不備があると，水漏れや感電，火災の原因になります。

加湿器，電気ヒータなどの別売品は，必ず，当社指定の製品を使用してください。また，取り付けは専門業者に依頼してください。

ご自分で取り付けをされ不備があると，水漏れや感電，火災などの原因になります。

⚠注意

アース工事を行ってください。

アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は，感電の原因になることがあります。

漏電遮断器の取り付けを必ず行ってください。

漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると，発火の原因になることがあります。

強風の影響を受けやすい地域では，転倒防止工事を行ってください。

室外ユニットの転倒につながり，ケガの原因になることがあります。

エアコンの重量に十分に耐えられる場所に確実に設置してください。

据え付けに不備があるとユニットの転倒・落下につながり，ケガの原因になることがあります。

■使用上の注意事項

⚠警告

長時間冷風を身体に直接あてたり，冷やし過ぎないようにしてください。

体調悪化や健康障害の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。

内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は，運転を停止して電源スイッチを切り，お買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま運転を続けると故障や感電，火災などの原因になります。

洪水，台風など天災でエアコンが水没したときは，お買い上げの販売店にご相談ください。

運転をすると故障や感電，火災などの原因になります。

⚠注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しないでください。

食品の品質低下などの原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは，こまめに換気してください。

換気が不十分な場合は，酸欠事故の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないでください。

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で据付台などが傷んでいないか注意してください。

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしないでください。

感電の原因になることがあります。

動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

掃除をする時は必ず運転を停止して，電源スイッチを切ってください。

内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。

針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

エアコンの上に乗ったり，物を載せたりしないでください。

落下や転倒などによりケガの原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたりエアコンに直接吹きかけないでください。

発火の原因になることがあります。

吹出グリルを外して使用しないでください。

ケガの原因になることがあります。

電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしないでください。

火災や水漏れの原因になることがあります。

室内ユニットの近くで湯沸器等の器具を使用しないでください。

蒸気を発生する器具を近くで使用しますと，冷房運転時水滴が落ちたり，漏電・短絡の原因になることがあります。

室内ユニット内部の洗浄はお客様自身では行わず，必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口に相談してください。

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと，樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また，洗浄剤が電気品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

▌移設・修理時の注意事項

⚠警告

改修は絶対にしないでください。また，修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

修理に不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒーター，ストーブ，コンロ等の火気に触れると，有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は，漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

エアコンを移動再設置する場合は，販売店または専門業者にご相談ください。

据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。

各部の名称とはたらき

室内ユニット

ASP224F1, 300F1

ASP450F1, 600F1

●吹出口(上面・ダクト接続)
冷温風はここから出ます。
(温風は別途ご注文により加熱器を取り付けた場合のみ作用します)

●吸込グリル(前面)
室内の空気を吸込みます。

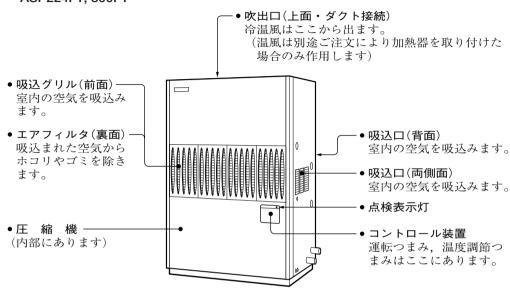
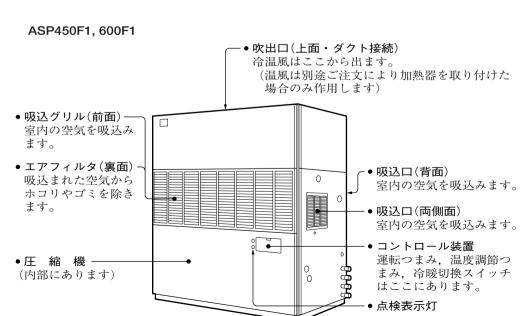
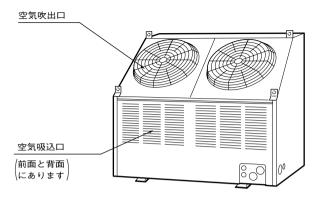
●エアフィルタ(裏面)
吸込まれた空気からホコリやゴミを除きます。

●圧　縮　機
(内部にあります)

●吸込口(背面)
室内の空気を吸込みます。

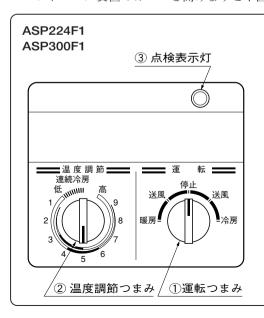
●吸込口(両側面)
室内の空気を吸込みます。

●コントロール装置
運転つまみ，温度調節つまみ，冷暖切換スイッチはここにあります。

●点検表示灯

室外ユニット

AUCP224F1, 300F1

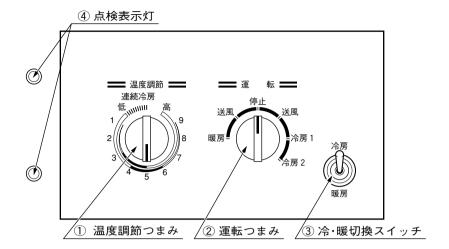
注）１．室内ユニット ASP450F1・１台当たりの室外ユニットはAUCP224F1・２台との組み合せになります。
　　２．室内ユニット ASP600F1・１台当たりの室外ユニットはAUCP300F1・２台との組み合せになります。

操作部の名称とはたらき

コントロール装置のカバーを開けますと下図のつまみがあります。

①運転つまみ………エアコンの運転を「停止」「送風」「冷房」に切換えるためのつまみです。
本機は冷房専用機です。「暖房」は別途「電気ヒータ」などをお取り付けされたときに使用できます。

②温度調節つまみ…お部屋の温度を調節するためのつまみです。

③点検表示灯………エアコンに異常が発生したとき点灯します。

ASP450F1, 600F1

①温度調節つまみ……お部屋の温度を調節するためのつまみです。

②運転つまみ…………エアコンの運転を「停止」「送風」「冷房」に切換えるためのつまみです。

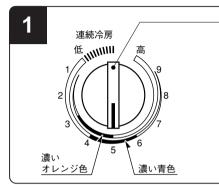
③冷･暖切換スイッチ…スイッチを「冷房」に合わせますと冷房運転になります。
本機は冷房専用機です。「暖房」は別途ご注文により加熱器を取り付けた場合のみ作用します。

点検表示灯…………エアコンに異常が発生したとき点灯します。

運転のしかた

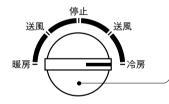
お願い　シーズンの初めや長時間停止後に運転するときは，エアコンを保護するため**運転開始の12時間前に電源スイッチを入（ON）にしてください。**
また，**シーズン中は電源スイッチを切らないでください。**

ASP224F1, 300F1

1

「温度調節つまみ」をお好みの温度の位置にしてください。

温度調節つまみのめやす
　冷房……目盛４～６

- 室内温度を低くしたいときは数字の小さい方へ，回してお使いください。
- 目盛「低」より右に回しますと常時冷房運転になります。

2

- 「運転つまみ」を冷房運転にします。
室内送風機・圧縮機および室外送風機が運転し快適な冷房運転をします。除湿も同時に行います。

ASP450F1, 600F1

1

●**「冷・暖切換スイッチ」をいずれかの運転にしてください。**

●冷　房

冷房運転をするときは「冷房」側に倒してください。

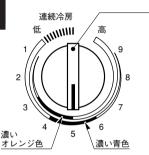
●暖　房

別途電気ヒータなどをお取り付けになった場合暖房運転ができます。この場合「暖房」側に倒してください。

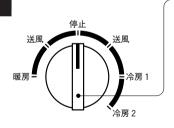
2

「温度調節つまみ」をお好みの温度の位置にしてください。

温度調節つまみのめやす

冷房……目盛４～６

●室内温度を低くしたいときは数字の小さい方へ，高くしたいときは数字の大きい方へ回してお使いください。

●冷房時，目盛「低」より右に回しますと常時冷房運転になります。

3

●**「運転つまみ」をいずれかの運転にしてください。**

●停　止

本機を止めるときは「つまみ」を「停止」の位置に合わせてください。

すべての運転が止まります。

●送　風

「送風」の位置に「つまみ」を合わせますと室内送風機のみが運転して室内空気を循環します。

●冷房１

「冷房１」の位置に「つまみ」を合わせますと室内送風機に加え№１（左側）圧縮機および№１室外ユニットの送風機が運転して能力50％の冷房運転を開始します。

●冷房２

「冷房２」の位置に「つまみ」を合わせますと「冷房１」に加え，さらに№２（右側）圧縮機および№２室外ユニットの送風機も運転して能力100％の冷房運転になります。

●暖　房

別途加熱器をお取り付けになった場合「暖房」の位置に「つまみ」を合わせますと暖房運転を開始します。

お知らせ

- 運転中に「温度調節つまみ」を数字の大きい方にしますと室外送風機・圧縮機の運転が停止することがあります。これは故障ではなく温度調節器が働いたためですから，その位置で使っていただくか３分後にご希望の位置にセットしなおしてください。

お 願 い

- 一度運転を停止し再び冷房運転するときは必ず３分間以上お待ちください。ただちに運転しますと過大な電流が流れ，安全装置が作動して点検表示灯が点灯することがあります。
- 運転中に停電した場合は運転スイッチをいったん「停止」に戻してください。停電しても気付かず「停止」に戻さなかった場合は通電時に点検表示灯が点灯し運転を行いません。このときはいったん「停止」に戻してから再び運転してください。
- ひんぱんな運転ー停止（１時間に４～５回以上）を行わないでください。ひんぱんに行いますと圧縮機の故障につながることがあります。

上手なご使用のしかた

わずかなお心づかいで経済的で快適な運転ができます。

冷やしすぎは無駄です	熱の発生や侵入を少なく
冷やしすぎは健康によくありません。また，電気のむだづかいになります。 温度調節つまみでこまめに室温を調節してください。	● 室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。 ● 直射日光の当たる窓にはカーテン等日よけをしてください。 ● 窓や出入口は必要時以外は開けないようにしてください。
風向調節をじょうずに	**エアフィルタの掃除はこまめに**
室温のムラがなるべく少なくなるように風向を調節してください。 **⚠警告　長時間冷風を身体に直接当てないでください。** 体調悪化や健康障害の原因になります。	● エアフィルタが目づまりすると風量が減少し冷房効果が落ちます。また電気のむだづかい，運転音も大きくなります。

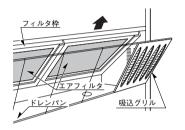
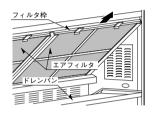
お手入れのしかた

エアフィルタおよびドレンパンにホコリ・ゴミなどがつきますと空気の流れが悪くなり能力が低下したり排水管が詰まって水が漏れることがあります。

⚠注意　**掃除をするときは必ず運転を停止して，電源スイッチを切ってください。**
内部でファンが高速で回転しており，ケガの原因になることがあります。

エアフィルタの掃除

シーズン中は２週間に１回程度掃除してください。

外しかた

● P224F, 300F形

「吸込グリル」(224Fは４枚，300Fは５枚）の上部を手前に引き確実に取り外してください。上図のようにエアフィルタが見えます。
エアフィルタとフィルタ枠は一体になっています。フィルタ枠をつまんで矢印の方向に引出せばエアフィルタが取り出せます。

● P450F, 600F形

「吸込グリル」の上部のボルトを外し「吸込グリル」を外してください。
エアフィルタとフィルタ枠は一体になっています。フィルタ枠をつまんで矢印の方向に引出せばエアフィルタが取り出せます。

掃除のしかた

電気掃除機をご使用になると簡単にホコリが落とせます。
汚れがひどい場合は中性洗剤をとかしたぬるま湯（30℃位）でゆすぎ洗いし，水洗いした後よく乾かしてください。

お願い

- 熱湯で洗わないでください。
- 火であぶって乾かさないでください。
- 強く引っ張らないでください。フィルタが損傷します。

掃除が終ったら

お願い　エアフィルタを外したままで運転しますと機械にホコリがたまり故障のもとになります。必ずエアフィルタを取り付けて運転してください。

ユニット各部のお手入れ

- やわらかい布で掃除してください。
- 特に汚れがひどいときはぬるま湯にとかした中性洗剤でふきとってください。あとは中性洗剤をよくふきとっておいてください。

シーズン後には

- 電源スイッチを必ず切ってください。
- エアフィルタを掃除して取付けておいてください。
- 室内ユニット，室外ユニット共に掃除して汚れを落としてください。

シーズン前には

- 室外ユニットの吸込口，吹出口のまわりに風の障害になるものがないか確認してください。
- エアフィルタが汚れていないか確認してください。
- 「運転つまみ」が**「停止」**にされていることを確認し冷暖房運転開始12時間まえに電源スイッチを入れてください。

〔ユニットには停止中，冷媒が圧縮機内の油中に溶込むのを防ぐため,圧縮機にクランクケースヒータが取付けてあります。〕

- 電源投入後３分間は，圧縮機は起動しません。

定期点検一覧表

定期的に点検を行ってください。**点検を行うときは，必ず「運転つまみ」を「停止」にし，さらに電源スイッチを切ってください。**

点検項目	２週間ごと	１ヶ月ごと	１年ごと	備考
● エアフィルタの清掃	○			11ページ参照
● ドレンパンの清掃	○			11ページ参照
● 前面カバーと外板の手入れ	○			上記参照
● 室外ユニットのコイルの清掃		○		異常があると思われるときは販売店にご相談ください。
● 本機内部からの異常音（室内ユニット・室外ユニット）		○		
● サーモによる圧縮機の発停頻度（運転10分以上，停止５分以上なら正常です）		○		
● ファンベルトの張り		○		
● アース線のはずれ		○		
● 電線皮覆の損傷および端子のゆるみ・はずれ		○		
● 冷媒配管のガス漏れ			○	販売店に点検を申し出てください。
● 安全装置の点検			○	
● 電気回路の点検			○	
● ドレン配管の清掃			○	
● 能力の確認			○	

日常の心得

「点検表示灯」，各操作用「つまみ」などが割れたり破損していましたら販売店もしくはサービス業者にお申し出ください。

サービスを依頼される前に

アフターサービスをお申しつけになる前に次のことをお調べください。

全然運転しない	停電ではありませんか。	電源スイッチはON（入）になっていますか。
冷えが悪い	温度調節つまみの位置は適正ですか。	エアフィルタが汚れていませんか。
	風の吸込口や吹出口に障害物はありませんか。	窓やドアが開いていませんか。
	お部屋の人数が多すぎませんか。	お部屋に直射日光が当たっていませんか。
	お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか。	

以上のことをお調べいただいても正常に運転しないとき，また次のようなときにはエアコンの運転を止めてお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ヒューズやブレーカがたびたび切れるとき
- 冷房運転中，水が漏れるとき
- 運転動作や運転音に異常があるとき

これは故障ではありません

●**臭いについて**……………………………室内ユニットから臭いが出ることがありますが，これは，タバコ・体臭等の雑多な臭いの粒子が製品内に吸着されて吹き出すものです。

●**水の流れるような音がする**…………運転開始時や運転途中（温度調節器による発停時など）にユニットより**「シュルシュル」「ゴボゴボ」**という音が出ることがありますがこれは冷媒の流れる音です。

点検表示灯が点灯したときは

点検表示灯（赤）が点灯したとき

「運転つまみ」を「停止」にもどし電源スイッチを切って13ページ参照のうえ故障の原因を除いてから再び運転してください。
（原因がわからないときは，お買い上げの販売店にご連絡ください）

据え付け・移設・点検整備について

いつまでも安全・快適にご愛用いただくために，つぎのことにご注意ください。
据付け工事は販売店に依頼しお客様ご自身ではなさらないでください。

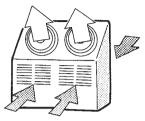
室内ユニット

据　付　場　所

⚠**注意**　**室内ユニットの吸・排気側をダクト接続して密閉構造の機械室へ設置すると，機械室が負圧になり扉の開閉ができなくなることがあります。**
この場合，ガラリ等を設けて機械室を均圧にする対策が必要です。

室外ユニット

据　付　場　所

風通しのよい場所に据え付けられていますか？

障害物があると能力低下や運転音増大のもとになります。

温風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？

降雪・積雪地域でのご使用について

室外ユニットの据付場所は次のような処置をしてください。

- 降雪により室外ユニットの空気吸込口をふさいだり，雪が入り込んで内部で凍結しないよう「防雪フード」を設けてください。
- 多雪地域では，積雪により空気吸込口をふさぐことがありますので，その地域の積雪量に応じて基礎を高くするか，予想される積雪量より50cm以上の高さの「架台」に室外ユニットを据付ける必要があります。

電　気　工　事

⚠注意　**アース工事を行ってください。**
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は，感電の原因になることがあります。

⚠注意　**漏電遮断器の取り付けを必ず行ってください。**
漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が，電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■エアコン専用の配線になっていますか？

転　居　や　移　設　の　と　き

⚠警告　**エアコンを移動再設置する場合は，販売店または専門業者にご相談ください。**
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。
なお，取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

点　検　整　備　に　つ　い　て

ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが，エアコンを３年程度ご使用になりますと内部が汚れ能力が低下することがありますので，通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

保証とアフターサービスについて

保証について（保証期間は，納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので，記載内容をご確認の上，大切に保管してください。
- 保証期間中，万一故障した時は，お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。
  保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）
  保証期間中でも有償になる場合がありますので，保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために，お客様の行う日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
  標準的な保守点検の，「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」［主要部品の交換・修理実施周期］は，表-1を目安にされると便利です。また，代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
  なお，保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので，契約時によくお確かめください。

■機器予防保全の目安

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
下記は，以下のご使用条件の場合です。
①頻繁な発停のない，通常のご使用状態であること。
②製品の運転時間は，10時間/日，2,500時間/年と仮定しています。
また，下記の項目に適合する時には，「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源（電圧，周波数，波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
③振動，衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃，塩分，亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ（ファン，ルーバ，ドレンポンプ用など）		20,000時間	バルブ（電磁弁，四方弁など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー（サーミスター，圧力センサーなど）		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年

注⑴本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
この保全期間は，製品を長く安心してご使用いただくために，保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので，適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合，保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は，製造打ち切り後９年間です。当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ，修理によって性能を維持できる場合は，お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-2. 消耗部品の「交換周期」一覧表

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	１年	５年	ヒューズ	１年	８年
高性能フィルタ	—	１年	加湿器エレメント		５年
ファンベルト	１年	３年	クランクケースヒータ		８年

■アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ，専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので，お買い上げの販売店にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので，お買い上げの販売店にご相談ください。

仕　様

室内ユニット

（50／60Hz）

		単位	ASP224F1	ASP300F1
電源			3相　200V　50／60Hz	
冷房能力		kW	20.0／22.4	26.5／30.0
圧縮用電動機		kW	5.5	7.5
送風用電動機		kW	0.4	0.75
補助電熱器			組込可能	
消費電力		kW	7.27／9.40	11.4／13.5
運転電流		A	25.4／30.2	36.2／40.7
運転音		dB	55／58	56／60
風量		m^3/min	30／30	40／40
外形寸法	高さ	mm	1700	
	幅	mm	1100	1360
	奥行	mm	560	
	分割できる高さ	mm	――	
製品質量		kg	220	250
冷媒封入量		kg	8.1（R407C，配管5m分封入済）	8.9（R407C，配管5m分封入済）

（50／60Hz）

	単位	ASP450F1	ASP600F1
電源		3相　200V　50／60Hz	
冷房能力	kW	40.0／45.0	53.0／60.0
圧縮用電動機	kW	5.5×2	7.5×2
送風用電動機	kW	1.5	
補助電熱器		組込可能	
消費電力	kW	14.9／19.1	21.8／26.6
運転電流	A	53.0／62.3	69.0／79.8
運転音	dB	59／62	61／64
風量	m^3/min	60／60	80／80
外形寸法 高さ	mm	1870	
外形寸法 幅	mm	1650	1850
外形寸法 奥行	mm	660	750
外形寸法 分割できる高さ	mm	1355＋515	
製品質量	kg	460	510
冷媒封入量	kg	7.7×2（R407C，配管5m分封入済）	8.8×2（R407C，配管5m分封入済）

室外ユニット

（50／60Hz）

	単位	AUCP224F1	AUCP300F1
電源		単相　200V　50／60Hz	
送風用電動機	kW	100×2	
運転音	dB	56／56	
外形寸法 高さ	mm	1150	
外形寸法 幅	mm	1350	
外形寸法 奥行	mm	600	
製品質量	kg	110	

備考　1．冷房能力及び電気特性は，冷却器及び凝縮器入口温度33℃DB／28℃WB時の値を示します。

2．運転音はJIS規格に準拠し，反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は，周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。なお，室外ユニットは本体前方１m，高さ１mにて測定した値です。

運転範囲

お 願 い　次の運転範囲でお使いください。この範囲外で運転しますと，保護装置が働き運転できないことがあります。

条件／区分	室内温度は…	室外温度は…	室内湿度は…
冷房運転	**約25～40℃** 約25℃以下で長時間運転しますと機械に霜が付き，冷房運転ができないことがあります。	**約20～43℃**	**約80％以下** 高い湿度で長時間運転するとエアコンの表面に露が付いて水滴が落ちたり，吹出口から煙のような霧が吹き出すことがあります。

高圧ガス保安法に関する事項

下表の製品は，高圧ガス保安法に基づき，冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料・構造を遵守し，圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換又は修理される場合は資格（冷凍機器製造事業所）のある事業所に依頼されるようお願い致します。

保安上の明細は次の通りです。

機種			ASP224F1	ASP300F1
法定冷凍トン		50Hz／60Hz	2.69／3.25	3.59／4.33
冷媒			R407C	
冷媒充填量		kg	8.1（配管5m分封入済）	8.9（配管5m分封入済）
許容圧力	（高圧部）	MPa	3.3	
	（低圧部）	MPa	1.6	
高圧遮断装置の設定圧力		MPa	3.24	
圧縮機	台数		1	
	形名		CB80H	CB100H
	許容圧力	MPa	1.6	
凝縮器	台数		1	
	形式		プレートフィンコイル式	
	許容圧力	MPa	3.3	
	溶栓の口径	㎜	5.56	
	溶栓の溶融温度	℃	75	
その他の容器	品名		アキュムレータ	
	許容圧力	MPa	1.6	
	溶栓の口径	㎜	——	
	溶栓の溶融温度	℃	——	
機器製造事業者			三菱重工業株式会社	

機種			ASP450F1	ASP600F1
法定冷凍トン		50Hz／60Hz	5.38／6.50	7.18／8.66
冷媒			R407C	
冷媒充填量		kg	7.7×2（配管5m分封入済）	8.8×2（配管5m分封入済）
許容圧力	（高圧部）	MPa	3.3	
	（低圧部）	MPa	1.6	
高圧遮断装置の設定圧力		MPa	3.24	
圧縮機	台数		2	
	形名		CB80H	CB100H
	許容圧力	MPa	1.6	
凝縮器	台数		2	
	形式		プレートフィンコイル式	
	許容圧力	MPa	3.3	
	溶栓の口径	㎜	5.56	
	溶栓の溶融温度	℃	75	
その他の容器	品名		アキュムレータ	
	許容圧力	MPa	1.6	
	溶栓の口径	㎜	——	
	溶栓の溶融温度	℃	——	
機器製造事業者			三菱重工業株式会社	

据付けの際に現地で冷媒配管を施工した設備は配管施工部分の気密試験を3.3MPaで実施願います。

電気ヒータの取り付けに際して

電気ヒータについて

⚠警告　**電気ヒータを取り付けられる場合は，弊社純正品を必ず使用してください。**
純正品の購入については，本機お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付けについて

⚠警告　**電気ヒータの取り付けは専門の知識・技術を必要としますので，お買い上げの販売店にご依頼ください。**
誤った取り付けをされますと感電，火災などにつながるおそれがありますので特にご注意ください。

消防署長への届け出について

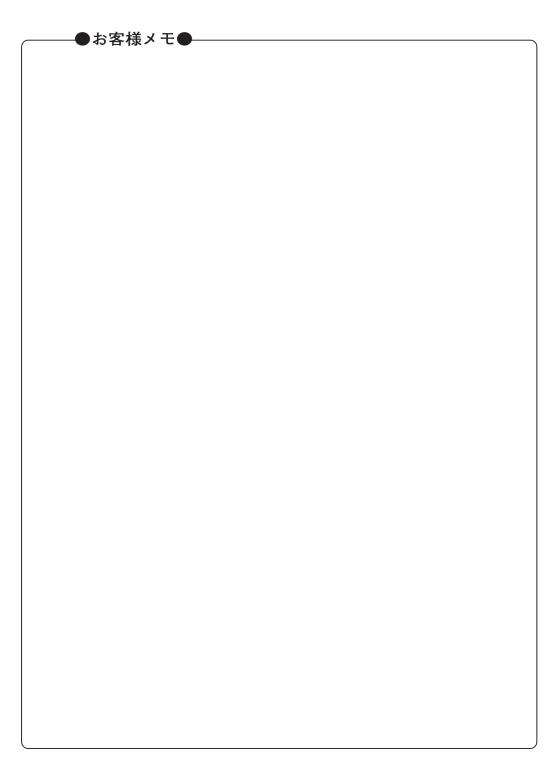
お願い

本機が下記のいずれかに該当するような場合，電気ヒータの取り付けを計画されるお客様は，あらかじめその旨所轄消防署長に届け出て審査を受けなければならないよう各市町村の火災予防条例で決められています。所轄の消防署にご相談され所定の手続きをしてください。

■届け出の必要な場合

１．風道（ダクト）を使用する場合。
２．劇場，映画館，演芸場，観覧場，公会堂，集会場，カフェー，キャバレー，ナイトクラブ，遊技場，ダンスホールなどで使用する場合。
３．最大消費熱量が69.8kW以上になる場合。
（注）上記「届け出の必要な場合」は，各市町村の火災予防条例により異なる場合がありますので，所轄の消防署にお問い合わせください。

電気ヒータについてのお願い

電気ヒータ用ヒューズが働いた場合は，必ずお買い上げの販売店に点検整備をご依頼ください。
電気ヒータ用ヒューズは，万一の異常時に火災等の災害を防止する重要な保護装置です。

サービスをお申しつけになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- ユニットの形式名は？
- ユニットの製造番号は？
- 故障の内容は？――――どのような状態でどうなりましたか。

お客様メモ

ご購入店名	担　当　者
電 話 番 号	ご 購 入 日　　年　　月　　日

三菱重工業株式會社

冷熱事業本部　〒452-8561　愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地